

合掌

同志相親しみ、相援け、相譲り

3月に年少の昇級試験を行いました。今回は、幹部拳士が忙しく、まとまって試験が出来ませんでしたので、技術試験に関しては、何回かに分けて行いました。無事に試験も終わり、それぞれ昇級を果たし、帯の色が変わったり、袖の階級章が変わったりして、気分も新たにしているのではないのでしょうか。

今回は、拳士の宿題レポートの一部を紹介します。

少林寺拳法を始めた動機

私が少林寺拳法を始めた理由は、もともとやっていた友達に誘われたということもあるのですが、体験してみた時に、先輩後輩の関係がとても良かったということです。もともとやっていた新体操は、もちろん全員仲が良かったのですが、先輩後輩で同じように接していましたし、教えてもらうのはコーチだけだったので、教え合うことが少なかったです。でも少林寺拳法では、先輩が後輩を教え、それを後輩が習得し、習得した技を、後輩が先輩となり教える、という一つの仕組みが自然に出来ていることが素晴らしいと思ったからです。

素晴らしい気付きです。少林寺拳法の良さの一つですね。それを体験入門の時に感じていたということに驚かされると同時に、これこそ、少林寺拳法の素晴らしさなのだ、私自身、改めて気付かされた思いでした。

誓願の1つ目にこうあります。

我等此の法を修めるに当り、祖を滅せず師を欺かず、頂上を敬い、後輩を侮らず、同志互いに親しみ合い援け合い、協力して道の為につくすことを誓う。

信条の4つ目はこうです。

我等は、法を修め、心身を錬磨し、同志相親しみ、相援け、相譲り、協力一致して理想境建設に邁進す。

少林寺拳法の教えの中心、つまり「道」とは、「自己確立」であり、「自他共楽」です。つまり、その目指すべき理想境とは、我々一人一人が、己の自己確立を目指して修練し、「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」考えながら援け合って生きていく、共存共栄の社会です。その理想境の実現の為には、私たちが、共に互いを認め合い、尊重し合い、援け合っていくことが、最良の方法であると説いているのです。

理想境というと、実現が困難な、「絵に描いた餅」のように感じますが、実は、少林寺拳法の道場の中で、日常的に行われている、「先輩が後輩を教え、それを後輩が習得し、習得した技を、後輩が先輩となり教える」(上記作文より抜粋)という教え合いの関係の中に、その理想境の姿の一辺があるのではないかと、豊田拳士の作文を読みながら感じました。

4月。年度が替わり、それぞれ新しい生活がスタートします。この「理想境」に、新しい仲間をたくさん引き込み、素晴らしい関係を、もっともっと広げていければいいなと思います。拳士の皆さんも、ぜひ、身近な人を誘ってみて下さい。

結手

《連絡事項》

本年度の主な行事予定です。道院の行事(赤字)には、基本的に参加をお願いします。参加できない場合は早めにご連絡ください。また、予定ですので、変更になる場合もあります。道院だよりや道院ホームページ等でその都度ご確認ください。

月	日(曜)	行事予定	備考
4月	4日(日) 17日(土)	埼玉武専 前小坂直樹道院長 献香・偲ぶ会(第1教区) (道院幹部のみの参加となります。)	
5月	5日(水) 8日(土)9日(日) 23日(日) 30日(日)	埼玉武専 道院長支部長講習会 さいたま市民大会 合同練習会 (埼玉・幸手・埼玉大・日工大)	
6月	6日(日) 13日(日)	埼玉武専(深谷ビクタートル) 埼玉県大会(埼玉武道館)	
7月	11日(日) 30日～8月2日	埼玉武専 全国高校生大会	
8月	7日(土) 8日(日)～19日(木) 20日(金)～22日(土)	少年少女武道錬成大会(日本武道館) 道院夏休み 道院合宿(榛名高原学校) 全国中学生大会(本部)	
9月	20日(日)	埼玉武専	
10月	17日(日)	埼玉武専	
11月	7日(日) 14日(日) 28日(日)	埼玉武専 合同練習会 (埼玉・幸手・埼玉大・日工大) 埼玉理工系大学大会	
12月	5日(日) 21日(火) 23日(木) 24日～1月6日	埼玉武専 練習納め 納会 道院年末年始休み	
1月	～6日 7日(金) 未定 30日(日)	道院年末年始休み 練習始め 第1教区新春法会及び鏡開き 埼玉武専(深谷ビクタートル)	
2月	27日(日) 未定	埼玉武専 審判講習会(4段以上拳士参加)	
3月	27日(日)	埼玉武専	